

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-505582(P2006-505582A)

【公表日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-546290(P2004-546290)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/506	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
C 0 7 D	401/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/506
A 6 1 P	9/04
A 6 1 P	9/10
A 6 1 P	9/12
A 6 1 P	11/00
C 0 7 D	401/04

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月18日(2006.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

膠原血管病、例えば強皮症に関連する原発性肺高血圧症および肺高血圧症は、処置が難しいことがよく知られている。長期的抗凝固療法、カルシウムチャネルブロッカー法、静脈内注射法、およびプロスタサイクリンまたはその誘導体の吸入法は、すべて有効であるがその効果は非常に限定されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明は、(a) N-[5-[4-(4-メチル-ピペラジノ-メチル)-ベンゾイルアミド]-2-メチルフェニル]-4-(3-ピリジル)-2-ピリミジン-アミン(以後化合物Iと呼ぶ)、および(b)肺高血圧症の処置に用いられる化合物、例えばカルシウムチャネル・アンタゴニスト、例えばニフェジピン、例えば、120~240mg/日、またはジルチアゼム、例えば、540~900mg/日、プロスタサイクリン、アデノシン、吸入用一酸化窒素、抗凝固剤、例えば、ワーファリン、ジゴキシン、エンドセリン受容体ブロッカー、例えば、ボセンタン、ホスホジエステラーゼ・インヒビター、例えば、バイアグラ、ノルエピネフリン、アンギオテンシン変換酵素インヒビター、例えば、エナラブリルまたは利尿剤から選択される少なくとも1つの化合物、を含む組合せを動物に

投与することを含む、肺高血圧症に罹患している温血動物、特にヒトを処置する方法；特に、肺高血圧症の処置を目的とした、同時に、別々にまたは連續使用のための、上記の（a）および（b）、および所望により少なくとも1つの薬学的に許容可能な担体を含む組合せ；上記組合せを含む医薬組成物；肺高血圧症、例えば、原発性肺高血圧症および続発性肺高血圧症の進行の遅延または処置を目的とした薬剤を製造するための上記組合せの使用；そして、上記組合せを含む市販用パッケージまたは製品に関する。